

周産期管理のために当院に通院・入院された患者さんの診療情報 を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属 <u>6C 病棟</u> 職名 <u>看護師長</u> 氏名 <u>勝又 徳子</u> 連絡先電話番号 <u>03-3353-1237</u>
実務責任者	所属 <u>6C 病棟</u> 職名 <u>看護師長</u> 氏名 <u>勝又 徳子</u> 連絡先電話番号 <u>03-3353-1237</u>

このたび当院では、上記の周産期管理でご入院・通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦2019年8月1日より2023年3月31日までの間に当院の助産師外来・産後2週間健診お受けの方

2 研究課題名

承認番号 20210040

研究課題名 慶應義塾大学病院助産師外来・産後2週間健診を受診した褥婦の産後うつスクリーニング結果について新型コロナウイルス感染症の流行前後での産後うつの比較に関する後方視的検討

3 研究実施機関

慶應義塾大学病院 産科外来・産科病棟

4 本研究の意義、目的、方法

【意義】当院産科では、周産期におけるメンタルヘルスの支援強化として産後うつの早期発見を目的に助産師外来・産後2週間健診を行っています。当院における診療実績を収集・解析することは、診療レベルの向上につながります。また、当院の診療経験を学術集会などで発表することは、我が

国の周産期診療水準の向上のためにも有意義と考えられます。

【目的】当院産科における妊娠・分娩管理例を後方視的に検討することです

【方法】当院の助産師外来・産後2週間健診をお受けになった褥婦さんを対象に、診療録から年齢、身体所見、既往歴、妊娠分娩経過(妊娠合併症、胎児異常、分娩様式、分娩週数、新生児所見等)産後の母児分離、退院後の支援者、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんへの気持ち質問票に関する情報を収集します。

5 協力をお願いする内容

診療録を閲覧し必要な情報を収集すること、および得られた診療情報の統計解析を行うことにご協力をお願いいたします。特別な検査は、行いません。

6 本研究の実施期間

西暦2021年5月25日～2023年3月31日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した診療情報を結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より診療情報の収集停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究実務責任者：勝又徳子 連絡先：03-3353-1237(6C産科病棟直通)

以上